

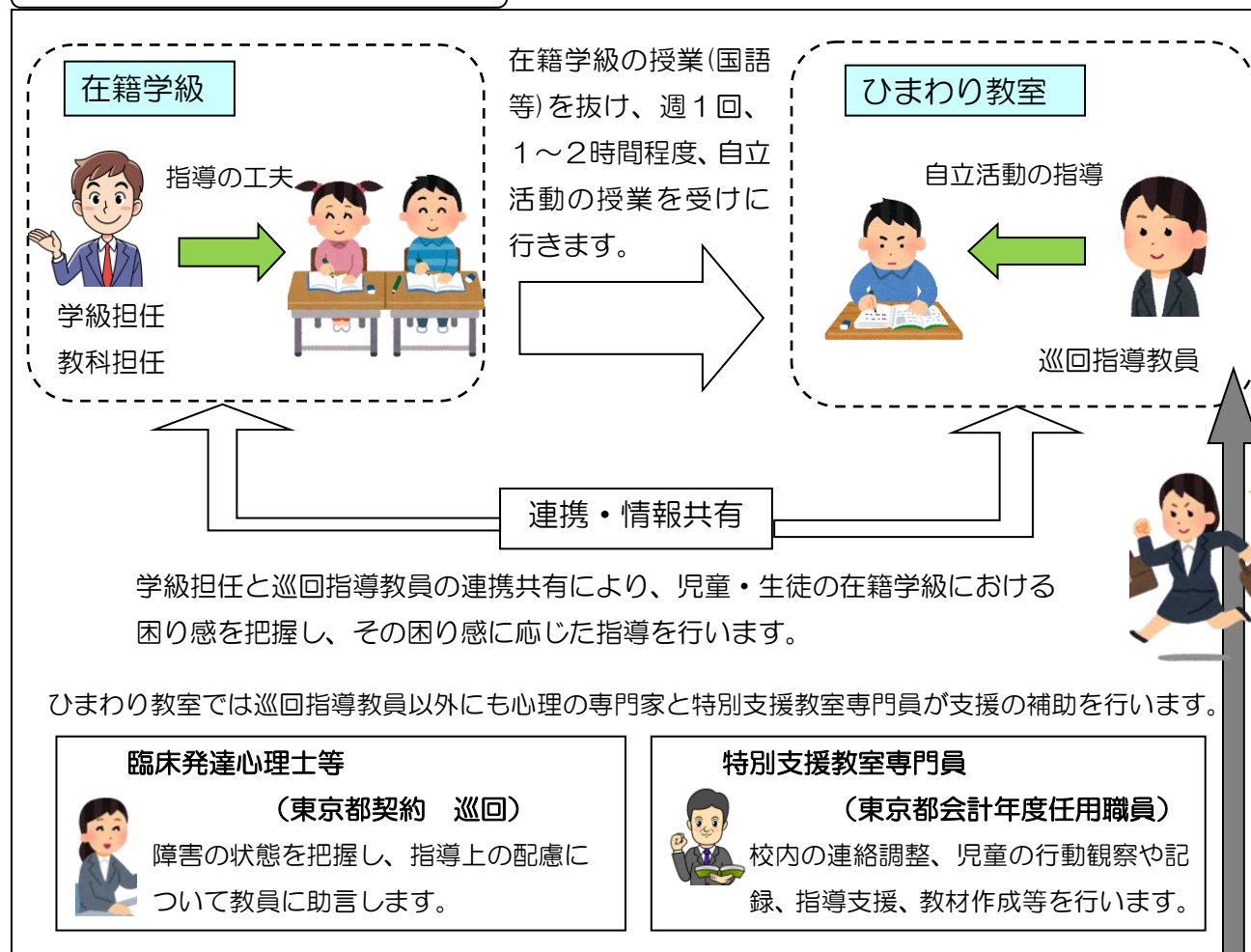
# ひまわり教室について

## 概要

特別支援教室は通常の学級に在籍し、一部特別な指導を必要とする児童が、在籍学級における障害による学習上又は生活上の困難さの改善・克服を図るため、一部の時間、別の教室で指導を受ける制度です。

江東区は「ひまわり教室」として全小学校に設置しています。

## 各小・中学校の指導・支援体制



## 巡回指導教員

- 江東区では、拠点校として小学校12校、中学校5校を指定し、配置しています。
- あらかじめ決められた曜日・時間に対象の児童・生徒が在籍する学校を巡回し、特別支援教室で指導を行います。
- 巡回指導教員同士が常に指導の方法や教材等を共有していくことで質の向上を図り、一人一人の児童・生徒の状況に応じて適切な指導を行います。

## 拠点校



## ★どのような指導をするの？

ひまわり教室では、一人一人の障害の状態や発達段階等に応じた指導目標を設定して、障害による通常学級での学習上又は生活上の困難を改善・克服するための指導（自立活動）を行います。児童の指導目標が達成された場合、特別支援教室は退室となります。

なお、教科の補習や在籍学級での学習の遅れを取り戻すための指導は行いません。

### 《指導内容の例》

◎場に合った発言が苦手な児童に対して、友達との遊びや会話の場面を想定した表現の練習を重ねることで、その場に応じた適切な言葉遣いや表現方法を身に付けられるようにしていきます。

◎見通しのもてない不安感から授業に集中できない児童に対して、あらかじめ学習の流れや内容・時間を目にする形で示すことで、見通しをもった行動ができるようにしていきます。

◎自分に合った学習方法や代替手段を習得し、在籍学級での学習を円滑にできるようにしていきます。



◎体の使い方や姿勢の保持が苦手な児童に対して、様々な課題を設けた体幹トレーニングを行うことで、バランス感覚や触覚、運動感覚を高めていきます。

## ★指導形態は？

児童の状態に応じて、指導形態を決めます。

### (1) 小集団学習

少人数の安心できるグループで、人と関わる自信と意欲を育てながら、話し合い活動や協力して課題に取り組む活動、体づくり活動等を行います。その中で、コミュニケーションスキル・ソーシャルスキル・集団行動の基礎を学習していきます。

### (2) 個別学習 **(必ずしもマンツーマンで指導をするという意味ではありません)**

- ① 児童の課題や特性に合わせて学習をしていきます。
- ② 自分を知り、自分の行動を振り返ることで、落ち着いて生活できるようにします。
- ③ 得意な事はさらに伸ばしていきます。苦手な事への対処法や在籍学級の学習により参加できるような方法を、教員と共に考え、自分で実践できるようにしていきます。

## ★指導期間について

特別支援教室では、学校生活の一年間のサイクルが終了する時点で、必ず振り返りを行うという趣旨で指導期間を原則一年と定めています。指導の成果を振り返り、指導開始当初の指導目標の達成状況を確認することが重要です。必要な場合は、指導を一年間延長し、延長終了時には改めて支援策を検討し、特別支援教室での指導の継続を含め、児童の状況に応じた適切な支援を行っていきます。